

1. 件名：京都大学臨界実験装置（KUCA）の変更に係る設計及び工事の計画の承認申請（軽水及び固体減速炉心用低濃縮燃料要素の製作）に関する京都大学複合原子力科学研究所とのヒアリング
2. 日時：令和5年4月6日（木） 13時30分～14時35分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議卓A（TV会議により実施）
4. 出席者：
 - （1）原子力規制庁 原子力規制部 研究炉等審査部門
金子安全規制調整官、伊藤主任安全審査官、島村主任安全審査官
加藤上席安全審査官
 - （2）京都大学複合原子力科学研究所
教授 他2名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. 配付資料
 - 資料1：京都大学複合原子力科学研究所の原子炉施設〔京都大学臨界実験装置（KUCA）〕の変更に係る設計及び工事の計画の承認申請書（KUCA軽水減速炉心用低濃縮燃料要素の製作）（KUCA固体減速炉心用低濃縮燃料要素の製作）
 - 資料2：評価計算書 燃料要素貯蔵設備の未臨界性に関する評価計算書
 - 資料3：参考資料 燃料さや管、燃料支持フレームの耐震性に関する評価計算書

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	そうしましたら定刻になりましたので京都大学等の経営CEO入力の計画に係る施設工事の仕上げを始めたいと思います。
0:00:14	こちらの参加者ですがこちら、現状ですとカトウ池シマムラさんね、後で下部子牛の方が参加いたします。兵頭さんの方はどうでしょうか。はい京大からはですね
0:00:29	後はミサワmeキタムラ私高橋の三名で参加させていただきたいと思います。
0:00:36	はい。
0:00:39	わかりました。そうしましたら資料に基づき説明の方よろしくお願いたします。
0:00:45	拝承しましたよろしくお願いたします。それではですねKUCAの軽水減速炉心用低濃縮燃料要素の製作、並びに固体減速、炉心予定濃縮燃料要素の製作二つの設工認に関しての、
0:00:59	ご説明を差し上げたいと思います。
0:01:03	2ページ目前回の審査会合での質問に対する回答ということで3ページに続かせていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:10	3 ページ目、こちらはですね先日 3 月 14 日に行われました審査会合での質問を一覧としてまとめたものでございます。
0:01:21	本日はですねこの五つの質問に対する回答ということで準備をさせていただいております。一番から順番に説明をさせていただきたいと思えます。
0:01:32	それでは 4 ページに移りましてまず質問 1 とその回答ということでございます。
0:01:38	質問 1 ですが、耐震性については燃料要素ではなく阪本橋フレームで担保されていると。
0:01:45	こちらはですね、低濃縮燃料になってですね一番当たりの重量が増えるということなんですけれども、
0:01:51	既承認の設工認申請書において想定した重量を下回っており、低濃縮化による成果や支持フレームの耐震安全性への影響はないというような、ご説明を差し上げていたところでございますが、
0:02:04	適合性の確認が必要な人の説明についてその根拠をですね、示せということで質問いただきました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:12	その回答になりますが、K U C Aの低濃縮に関する設置変更承認申請の審査におけるまとめ資料、こちら2022年3月8日に提出したものでございますが、
0:02:24	そちらにおきまして、燃料さや管、燃料支持フレームの耐震安全性について説明を行い、その是正について確認をしているところでございます。
0:02:34	固体減速炉心用では細管を使いまして、こちらは低濃縮燃料の燃料番号よりも重量が重い天然ウラン金属場にて評価を行っております。
0:02:44	軽水減速炉心用の燃料支持フレームにつきましては、今回使用する浦野シリサイド燃料において評価を行っている。
0:02:52	ということでございます。
0:02:54	こちらをまとめますと、こちらの枠の中にございますように、耐震性については、問題がないということでございます。
0:03:04	こちらの詳細につきましては、本日、添付しております評価計算書の方で、ご説明を差し上げているところでございますが、その次、次のページからですねその一部を記載しております。
0:03:17	まず初めに燃料細管の評価結果でございますが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:22	ちょっと具体的な数字については割愛をさせていただいております。
0:03:28	ですね一番当たりの重量が低濃縮燃料要素ですねこういった値でなっているところがございます。一方燃料細管についてはですね天然ウランの
0:03:39	金属板というものをですねすべて挿入した場合の評価を行っております、
0:03:44	その際ここに示しておるような、それぞれの重量がございますが、
0:03:49	最終的なまとめとして、下の青枠でございますように、既承認の購入で想定した重量というものは、今回の低濃縮燃料の需要よりも大きくなっておってですね。
0:04:02	耐震安全性については影響がないというふうに考えております。
0:04:06	6 ページに移りまして燃料支持フレームの評価結果でございます。
0:04:10	こちらはですね燃料フレーム支持フレームについての評価結果をまとめたものでございます。
0:04:17	高度地区のですね重量というのは一番あたりこういったようであったのところですね、裏のシリサイド燃料に変えたところ、
0:04:26	燃料が重量というのは増加しております。
0:04:29	ためですね

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:33	計算を行っていたところでございますが、
0:04:37	下でございますまとめにあります通りですね既承認の施工で設工認で想定した安全率というものが、
0:04:46	6倍以上あってですね、燃料の重量が、このような第 32%増加をしたとしても、影響がないと、いうことを確認しております。従いまして、テイルしかによる燃料支持フレームの耐震安全性への影響はないものというふうに評価をいたしました。
0:05:04	続きまして質問 2 とその回答になります。
0:05:07	質問 2 でございますが燃料を保管する天井等は、浸水の恐れのない人が集合体棟 2 階に設けられており、さらに同一に水を存在しないということで、
0:05:18	土質目以外の二階の水源からどうするに水が入るのに入ることはないという理解でよいか、また入らないのであればその根拠について説明すると。
0:05:28	ということでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:30	こちら以外にですねそのガイドを示しておりますが、まず初めにですね、燃料臨界集合体棟 2 階の地図をこのような形で示させていただいております。
0:05:40	燃料を保管する燃料等がある部屋というものはですね、燃料を保管するため保管庫テーブル等があるのみで、タンク等の水源は存在いたしません。
0:05:51	またですね、臨界集合体と二階にですね届く配管はなく、同数に水が入るといことはございません。
0:06:01	続きますが、参考といたしまして、左の図に水源となるような、露出の K U C A 臨界集合体等ですね炉室内の
0:06:12	1 階のですね、
0:06:13	補給水系と配管図というものを示しております。
0:06:17	配管はですねし臨界集合体と 1 階でございます、2 階には水源となるような配管をとっていません、
0:06:25	配管というのも対象となる部屋よりも下に設けられているということで、このような部屋に水が入ることはないということでございます。こちら先行という形で図を示させていただきました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:40	続きますして 9 ページに移ります。質問 3 とその回答になりますが、まず質問 3 でございますが、
0:06:47	燃料取扱場所の放射線量及び温度を測定できる既設の設備が引き続き利用できるとのことであるが、
0:06:53	高濃縮燃料要素から低濃縮燃料要素に変更したとしても、既設の設備にて引き続き利用できるとの理解でよいかということでもその根拠を示すということでございますが、
0:07:04	ここに以下にその説明をさせていただきます。
0:07:07	低濃縮燃料要素はですねコード少燃料要素に比べて U23 号量は少なく、浦 2008 量が多くなります。
0:07:15	従いまして低濃縮炉心では、ルール臨界に寄与する浦野新居さん普通の量が増加をいたします。
0:07:22	運転中での熱中性子による、浦野新居さん合格法律によって放出される生エネルギーというのは、202 メガエレクトロンボルトであるのに対しまして、
0:07:32	高速中性子による 238 確保についておっしゃる全エネルギーというのは、2、206 ルールということで若干大きくなります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:40	従いましてですね低濃縮燃料要素を用いた炉心の場合は、高度地区燃料要素を用いた炉心よりも、同じ出力を得るのに必要な核分裂数というものは少なくなるということになります。
0:07:52	そのため、蓄積される確率生成物 F P はですね、高濃縮燃料要素に比べて、低濃縮燃料の方が少なくなるということで、
0:08:03	包摂放射線量というものは低下をいたします。
0:08:07	でもですね、この辺にございますが線モニターの測定可能なレンジというものは、1 から 10 のマイナス 6 乗マイクロシーベルトパーアワーであるということで、少なくなったということであっても、既設で既設の設備で対応可能と考えております。
0:08:21	温度につきましても K C は出力が低く、貯蔵時に臨界にならないということで崩壊熱もないということで、低リスク燃料須藤コールクリエーションともに温度上昇は無視できるほど、無視できるほど小さい部分でございます。
0:08:35	そうですねをどけの測定範囲というのはここに示しているものでございます。以上のことから高速高濃縮燃料要素から程度地区で要するに変更したとしても、既設の設備で、
0:08:47	引き続き対応可能であるというふうに考えております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:51	10 ページに移りまして、
0:08:53	質問 4、4 とその回答です。
0:08:55	まず質問 4 ですが、通常運転時、運転時の異常な過渡変化時及び設計基準事故時のうち、最大の温度上昇を与える事象が、設計基準事故時ではなく、
0:09:06	上の方変化時であるのはなぜ、なぜかということで審査会合の参考資料にも示しておりますが、
0:09:15	こちらにございます説明の通りですね設置変更承認申請書の添付中にはですね設計基準事故として、反応度の異常の投入と、環境への放射性物質の異常の放出というものを想定しておりますが、
0:09:30	どんどん以上の投入による可能性は極めて低いことから、温度上昇となる設計基準事故は発生しないということでございます。そのため設計基準事故時に事項に、
0:09:40	の上昇を伴うシナリオというものが除外されておるため、の上昇については、過渡変化時における評価が最大となるということで、ご説明を差し上げたところでございます。
0:09:52	ですね反応度の以上の通りについては、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:55	燃料落下または燃料誤装荷が設置変更承認申請書で想定しておりまして そのうち、添付 10-10-3-2 において、誤装荷であって、要するに臨 界状態が保たれるということを確認しております。
0:10:11	さらにですね誤操作防止ために、次のページに示すような対策というも のを講じる予定です。
0:10:17	11 ページ目に移りまして、
0:10:19	こちらがその対応になります。こちらの方資料のですね詳細については 本日割愛しますが、保安規定等で十分にこちらを
0:10:29	担保するような対応を続けさせていただきたいというふうに考えており ます。
0:10:35	最後質問ごと、その回答になります。
0:10:39	まず質問 5 ですが、燃料要素貯蔵時の未臨界性担当については、最も厳 しい条件で評価すべきと考えますが、この評価にはトリウム貯蔵庫が考 慮されているのはなぜかということがございます。
0:10:52	というものです。こちら
0:10:55	いかにその回答を示しておりますが、トリウムの無限増倍率というのは 1 より十分に小さいため、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:02	臨界安全の非常に有名な者でございます臨界安全ハンドブックの評価からも外されております。
0:11:09	未臨界性担保の観点からはウラン燃料の周りはより評価が厳しくなる水を今回は配置をさせていただきました。
0:11:17	審査会合資料では、バードケージを完全に水没させた無限排率による評価を実施し、参考として、実質、いかにですね実際の燃料等の配置数7数で、
0:11:28	新宮中と周囲を水とした場合の評価を示しております。
0:11:32	固体減速用、頸椎減速炉心をとともにですね、
0:11:37	このような条件で燃料を配置した場合であっても、
0:11:41	実効増倍率というものが非常に小さくてですね。
0:11:44	臨界というものに関しては、未臨界性というものが十分に担保されているものと考えております。
0:11:51	協調性については、評価せえ計算書の方に記載をしておりますのでご参照ください。
0:11:57	以上が京都大学からの説明となります。
0:12:01	はい、ありがとうございます。何かございますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:06	既設のカトウですすみません都度今のですね、当資料で1点確認をさせていただきますんですけど、11 ページ目の質問への回答として、
0:12:18	こういうことをさ、これを定めますっていうことをで、それで説明の中でですね、後期計等で担保していくっていう説明があったと思いますが、
0:12:30	これ、第1回の本地形でちょっと細かいものについてはその下部規定で担保するっていう理解でよろしいんですかね。
0:12:38	京都大学の高橋ですはいおっしゃる通りでございます本規程で定めるところ元はですねその下部規定である私達のこの保安指示書と呼んでいるものがございますが、
0:12:49	こちらの下部規定において定めることを想定しております。
0:12:57	板野カトウです。そうしましたら、本件の申請の時に、許可ではこういう説明をしていってここの部分については、他の規定ここの部分については保安指示書の方で、
0:13:10	担保するというそういう説明がなされるという理解でよろしいですか。
0:13:15	京都大学のタカハシですはい、おっしゃる通りでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:24	頑張りますか。次にですね、一つの説明は太田省かれちゃったんですけど、前回計算書の方について、ちょっといろいろ
0:13:40	確認というか、混線させていただきたいと思います。
0:13:45	ちょっと申し訳ないですけど、
0:13:48	吉井、韓国の条件としてこのようにやっている理由とかがよくわからない部分がありまして、ちょっと整理が必要だなというふうに思っています。
0:14:02	それで、整理として何が必要かっていう様を、今からちょっと私の方で読み上げさせていただきますと、まずですね、
0:14:13	実際の運用要素の保管状況をまず正確に説明していただきたいというふうに思っています。私の理解では、計数個体のね、
0:14:25	入ってる貯蔵庫ですね、そういうものはこういう形にはなっているっていうふうにし示しているというのが理解しているんですけど、加えてトリウム貯蔵庫。
0:14:40	とりあえずはこのその同じ部屋の中にあるんじゃないかなと思っておりまして、まず正確にですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:49	これらの燃料を保管している部屋に教諭を配置するごみがどれぐらい入る、想定としているのか、それまず正確に、
0:14:59	示していただきたいと思います。
0:15:02	それですね、この他のをもしかしたら当たり前なのかもしれませんが、その保管の状況っていうの中にね、もうこうもしくは書きちゃっているんで今日も知久武居なんですよ。
0:15:17	ですので超濃縮しか入れませんというところ。
0:15:21	それと、
0:15:22	玄海の計算テスト総合講習ありますので、何ていうんすかねその距離感ですね。
0:15:30	これぐらいはなっていれば確認できるでしょうっていうそういう情報が必要になってくると。
0:15:36	それと、今回のその右委員会評価書のところでもありますが、バードゲージの中の箱の中に、
0:15:47	温度をどれぐらい入れるっていうのが書いてあるんですけど、それを実際入れるときにも同じ想定なのか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:56	そういうところまでまず正確に何をどこの辺に配置し、何がどれぐらい入ることを想定しているのかっていうのをまず説明していただきたいと。
0:16:08	その次にですね、所管状況を考慮した際の解析の考え方を整理していただきたいと思います。
0:16:18	ここについては、許可でもありますように、水没条件とするとあときつい条件があると考えています。
0:16:29	それで二つの要素に関して、隔離距離を考慮して、
0:16:35	相互干渉の考え方ですね、例えば水没条件であれば、単一ユニットでいいんですよとかですね、気中で係数と答えっていうのは、距離は
0:16:47	近いので、これその解消を見なきゃいけないとか、あと鳥山貯蔵庫に関しては、距離がこれだけ離れているので、
0:16:57	予算単一ユニットで見ればいいんですとかですね、まずあの、どういう条件でどういうふうを考えるからこの解析でいいんだよっていうのを、
0:17:08	整理していただきたいというふうに思っています。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:13	さらにもうちょっとと言うと水没条件だと反射境界をどこに設定するのかとかですね、そういうところをまず整理をしていただいた上で、
0:17:26	解析モデルとして、このモデルでいいんだっていう説明に入っていたらきたいというふうに思っています。
0:17:36	何か藤堂さん今の私からの意見に対して何かございますか。
0:17:54	すいません京田ミサワですお世話になります。
0:17:57	ちょっと二、三確認させてください。はい、どうぞ。
0:18:01	未臨界のですね計算については二つの考え方があるかなというふうに思っております。一つはですね、今現状の
0:18:11	バードックで貯蔵庫に入れた解析、これは申請書に90段という段が書いてあってですね、そこに入れるという解析があるわけなんですけれど。
0:18:24	そこでの解析、この場合はですねちょっと結果から申しますと、バードケースはそれなりの感覚を持って置いてありますので結構余裕を持った、
0:18:35	形状になります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:37	もう一つはですね、バードケージそのものを、作業中に取り出して、床の上におきます台の上に置きます。
0:18:48	そこにですね例えば 90 個のバードケージを、何ていうかな、積み上げるなり何なりしておくという、こういうことも考えられるわけですね。 で、
0:19:02	我々のところ何回も説明しておりますように、バードケージの感覚で、民間安全というのはもう最終的に大丈夫だと、いうことで一番最初から説明していて、
0:19:14	さらに燃料燃料だとそれよりも余裕があるので、もっと大丈夫だという説明をさせていただいております。で、今のですね御所ご質問というところで伺いたいのはですね、
0:19:27	燃料だに貯蔵中ということで考えるということよろしいでしょうか。 それとも、それを取り扱うときも含めたので考えるということでしたらいいでしょうか。といいますのは、
0:19:40	例えば燃料だっているのですね枠があって、バードケージを置くんですけど、真ん中に置けばいいですけど、こういうふうにならなくても、
0:19:51	継続は可能です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:52	それは少しずつこうありますけど、クリアランスあります。あります。 で、そういうことを考えるとですね、
0:20:01	どこまでこう保守的といいますか視せ、安全側の精度を見込んでですね 解析するかっていうのについては、医療へと考え方があるかと思いま す。で、
0:20:11	とりあえずねえと一番のあれはですねさっきも言いましたように、バー ドケージそのものを、例えば 90 個のバードケージを積み上げてやっ た、これだったら最悪の場合だと。
0:20:23	いうふうに考えているんですが、ここでの説明はですねどこまでさせて いただいたらよろしいでしょうか。貯蔵中だけでそれで構わないでしょ うか。
0:20:34	すいません。これはですね、すいませんちょっと何て言うんすかね。ど この想定のことを言っているのかっていうのもあるんですけど、私は まずここで説明が必要なのは、
0:20:50	許可で言っている、すごく条件、
0:20:55	週末要件ですね。
0:20:57	それと、鳥居部長が隣接した場合、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:04	その二つに対してまずやらなきゃいけないと。それでそのときに、現実的な評価として、ヌーダ名を設けてやるのって、
0:21:15	それともバードK値、テイツーでたことを想定してやるのか、それで江沢先生よりはバード計器でやったほうが距離間隔が狭くなるのでそこでやった方が厳しくなるでしょうと。
0:21:29	それでやればいいんじゃないかと、それはもうおっしゃる通りだと思います。
0:21:38	ですね、
0:21:42	うん。
0:21:45	すいません兄弟ミサワです。ですねちょっとお伺いしたかったのはですね。
0:21:50	例えばですね、バードケージを全部取り出して95を言ってきたら直交代にこう重ねるってのが一番厳しい条件だとそこに、
0:22:01	トリウム貯蔵庫も一緒に置くっていうのがやっぱり一番厳しい条件だということであれば、その評価を行えば、棚に入れた評価はもう、
0:22:11	おのずからもう大丈夫だという、説明にしたいなと思ってるんですが、それでもよろしいでしょうか。規制庁の加藤です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:21	<p>ですね、まずその許可との整合性の観点で、水没したりお見せしても大丈夫っていう観点に関しては、今西さん先生の言った評価が一番多田の厳しい条件になる。</p>
0:22:35	<p>ということを説明していただいて、評価するのであればそれでOKだと考えます。</p>
0:22:42	<p>わかりました。一応ですね檀に積み重ねた評価と、これ</p>
0:22:50	<p>を固めた評価ですね。うん。こういうふうに固めた評価というのは両方やってはいるんです。今これを見せしたのは、原料高のところですか。なぜかっていうとですね、</p>
0:23:01	<p>ご質問の中で当然取り出した時どう時どうですかという、</p>
0:23:06	<p>ご質問を受けるんじゃないかなとして運営するとですね、一番厳しい条件だけで示すればですね、運営と分量の方はもう省略してもいいんじゃないかと、いうふうに思っているんですが、</p>
0:23:24	<p>どうやれと言え、説明すれば説明しますが、それについていかがでしょうか。両方やってるんで、どっちでもいいんですけど。機長のカトウです。</p>
0:23:34	<p>うちはこのやしとかではなくて、事業者がこの説明する。</p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:39	多分
0:23:41	来層厚を説明がつくということであれば、先ほどの1件
0:23:46	解析の前提条件を
0:23:48	許可ではこういうふうに書かれているので、それらを一緒くたにしてこ ういう厳しい条件での解析評価を示すことによって、適合性を説明する とかですね。
0:23:59	きちんとその全景を整理した上で解析に入っていけば、私は問題ない と思います。
0:24:05	はい。承知いたしました。そのようにさせていただきたいと思います。 はい。あともう1点ですね、先ほどボードケージ代の数量というお話が ありまして、
0:24:15	数量はですねこれ保安規定で担保するというので
0:24:22	説明はしてる整数音程は当然担保するわけなんですけど、
0:24:27	解析としてはですねこれ目いっぱい進めた。
0:24:31	なので、解析をやってるんですが、そういうところはそういうような説 明で先ほどのところで我々として説明できればどういうモデルにしても 構わないということよろしいでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:44	<p>田野加藤です。あくまで要するに臨界にならないよってという評価を、未臨界を担保するために、解析をやってそれで臨界が担保できますっていうことだと思います。それで、</p>
0:24:57	<p>認可評価書ですね 9 ページのこういうモデルがあって、この内数で解析をやっているんだけど、おそらく本地形で定めるのは、これより、ここの年数もしくはこれ以下になるわけですね。</p>
0:25:12	<p>それがあると全然説明がつくと思いますので、よくわかりました。ここに定めている外周以降を保安規定には定めてですね。</p>
0:25:22	<p>今後保管するとかって言うのを言ってもらえれば、全然構わないと考えます。</p>
0:25:28	<p>はい。承知いたしましたそのあたり、ご指示の通り、説明の網を作りたいと思います。それから先ほど高橋の方からですね鳥海の</p>
0:25:40	<p>やらなかった理由等ありましたけど、馬越通りトリングも、隣接させた計算ということで評価したいと思います。はい。</p>
0:25:51	<p>ありがとうございました。端から以上です。</p>
0:25:57	<p>市長の加藤ですよろしいですか。</p>

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:01	<p>そうですね。ちょっと、栗田石井ですけど、あくまでですね解析、うちはこういう炉の研究がやらなきゃいけないってことを言っているわけじゃなくって、どういう考えに基づいて、実原価に介護できるっていう解析をやっていくんですかと。</p>
0:26:17	<p>そこを整理して、これ、このビルでいいんだとかっていう、この解析条件でいいんだっていうところで、少し修理しないと繋がらないんじゃないかなっていうところ。</p>
0:26:30	<p>何かこの、こういうふうを設定しているんだろうというところがちょっとはっきりになっちゃうところがあるんですね。</p>
0:26:36	<p>ですので、まず先ほど言ったように、交換条件を整理していただいて、解析の考え方を整理していただいて、その二つに基づいて解析モデルっていうものが、</p>
0:26:51	<p>これでいいんだっていう説明をして、解析に入らないと、ずっとちょっと落ちないと思いますので、そこをちょっと気つきをつけるような形でお願いをしています。</p>
0:27:01	<p>したいと思います。</p>
0:27:04	<p>それとですねすみません解析についてちょっと、</p>

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:08	等、写真、確認したいんですけど、今回の
0:27:14	真空中での評価が入っていると。
0:27:19	ですが、もしかしたら
0:27:22	おそらくここでスプリンクラーとかが全然ないので、
0:27:26	沖中の水分率を考慮したとしてもですね、大した影響はないと思うんですけど、この空気を、を含んだときの評価っていうのは、
0:27:41	例えば現実上こんぐらい含んでいてそのときの影響はこれぐらいですと かっていうのは説明できますか。
0:27:52	京都大学の高橋です。ちょっと本日の資料にですね評価書の方にはちょっと間に合わなかったんですけども、すでにですね空気のみ、
0:28:03	あと湿度が50%と100%ですね、こちら静100%というのは、空気乾燥 中でいくとこの14%でいくと約2%と。
0:28:13	いうものになりますが、こちらですでに評価を行っておりまして、値と しても十分に未臨界を担保できるものということになっております。従 いましてですねこちらの評価値についてもですね、
0:28:27	先ほどの評価計算書ですね別紙アップしたものの中に加えさせていただ きたいと考えております。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:34	はい、ありがとうございます。規制庁の方、今言われた組織の中で、津波ですね。
0:28:42	了解評価書のう。
0:28:46	7 ページ目のところでは、いろんなケースありますけれど、真空中だともうこの1を切るような値になっているじゃないですか。
0:29:00	それで、よく水分含有率を2%ぐらいにしたときですと、どれぐらい寄与があるんですか。
0:29:14	そうですね、一番下の方が1 変わるか変わらないかという程度でしてほぼ変わりません。
0:29:27	了解しましたね。そうする等、
0:29:33	何ですかね、中空の予定に対してはそこそこ影響あるのかもしれませんが、合計の熟度法律に関してはもう今日いただいたぐらいで、2年かかることに対しては事務局大丈夫だよってということですかね。
0:29:51	はい、おっしゃる通りです本当にコンマ1を切る値になっておりまして先ほど申し上げた進行中と比べても、ほぼ変わりがないというものでございます。了解いたしました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:02	そしたらですねええとあともう1点ちょっとお願いなんですけれど、今回その調査書の中に、
0:30:13	被覆材とガイドゲージ、これについてはですね、分子の個数密度、この仕事載っているんですけど、一応それセットいつでも入れてもらってもよろしいですか。
0:30:29	京都大学のタカハシ説、承知いたしました組成と三つと情報の中に加えるということで承知いたしました。はい。よろしく願いいたします。
0:30:39	解析については以上となりまして、ちょっとですねここを次から鉄道対象条文のところで何点か確認をさせていただきたいなというふうに思っております。
0:30:52	今回の申請ではですねまず第6条の耐震性っていうのが先ほど説明があったように砂岩支持フレームで担保するので、
0:31:02	第6条は鉄道体制十分じゃないっていう説明になっていますと。
0:31:09	それで、20以上のところでは、どういう要求になっているかといいますと、第1項のところですね、
0:31:21	最高使用圧力受注不可数、その他の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:25	これらを加える荷重に変えられるものでなければならないというふうになっていますと、すべて今回の6条を見ていないっていうことになる と、地震荷重、
0:31:39	事象荷重を、この22条のところdコールしなければいけないんじゃないかなというふうに考えておりました、
0:31:48	ですが、大石古谷坂野ですね、沖大津であったり応力を見ますと、おそらく地震会議を加えたとしても、
0:32:01	これで問題ないとは思っているんですけど、自主課税は、これに加えていないっていうまず理解でよろしいんですかね。
0:32:24	すいません少しだけお時間いただいてよろしいでしょうか。どうぞ。
0:32:49	京都大学の高橋です。細管フレームともにですね地震荷重はかけておりません。
0:32:56	米沢なんてないですね。はい。はい。それで、ですね
0:33:04	そこカラー年利優先で耐震Cでいいんですかね。
0:33:13	はい。耐震Cです。うん。耐震Cである当間地震工事でかけたとしても2割ぐらいなんですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:23	ちょうど今年度、先ほどの県協力分の発生力に対して全容があると思っ ていて、
0:33:32	ですので、要するに地震工事を考慮しても、要するにこれぐらいのパ ーセンテージの企業ですっていうのを、
0:33:43	この適合性の説明の方に加えることはできますか。
0:33:53	京都大学の高橋です 6 条にあたる地震ですねの部分について
0:34:01	そちらを考慮しても問題がないということの説明を加えるということ でよろしいですかね。それちょっと、もうちょっとですね、関係を言っ ておきますと今回、年齢要素の
0:34:13	耐震性って坂入十勝フレームで見ますよね。その時に、燃料そのもの っていうのはまず事象が変えますっていうもので、
0:34:23	22 条で説明がなされていますと、京成の場合ですと不可過激ずのもの も含めて大丈夫ですと。
0:34:33	その時に、事象数が来たとしても大丈夫なんですかっていうところを 説明していただきたいと。
0:34:42	承知いたしました。
0:34:44	はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:45	それでちょっと次にか。
0:34:51	大丈夫ですか。
0:34:53	はい京都大学タカハシですはい大丈夫です。はい。次にですね、11条についてです。
0:35:01	私の確認が悪かったなっていうところもあるんですが、11条の説明でですね、申請書の記載内容、ざっくり言いますと、
0:35:13	使えるから、これらの試験、検査保守修理できますよっていう記載になつてるとおもいます。
0:35:21	ですが事実の要求って、えっとですね、ちょっと待ってください。
0:35:53	えっと11条の要求で、
0:36:01	必要な設備の機能を確認するための、
0:36:06	市長、または検査及びこれらの機能を兼任するための保守または修理となっていて、まず、燃料要素が持っている必要な機能って何ですかっていうところを説明していただきたいんです。
0:36:22	おそらく、許可の方に、閉じ込めとかですね、遮へいとか、
0:36:27	N-S P S表のところとかに書いてあると思うんですけど、
0:36:33	それらを

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:34	担保するために、通常やる試験検査、それで何かに使ったときの保守修理ができるっていうところを説明しなきゃいけないところだと思っていて、
0:36:49	結論的には手ぶら使えるからそうなんだってところがあるんですけど、前段のところ、まずどのような機能を有しているんですか、どう いう試験、検査とかを、通常、これらも、
0:37:02	閉じ込めとかの機能維持、
0:37:07	を担保するために、通常やるんですかっていうところを整理した上で、 最終的にはおそらく手が使えるから、外観検査がない。それで、何かあったとしてもこういう修理ができますとかだと思っんです。
0:37:21	そこまでつなげていただきたいと思いますがいかがですか。
0:37:35	京都大学の高橋です。はい。承知いたしました最終的な結論としては変わらないということにはなるかと思っんですけどもそれ、それが本当に なんでそれで大丈夫なのかという、その前段の部分の説明を、
0:37:48	しっかり加えて、必要な項目はこういうものなんですけれども、これに 対して、手で扱えるので大丈夫というそういった説明ができるように資料、修正したいと思っんです。どうもありがとうございます。はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:01	すごいですけれど、持っている機能は何ですか、それらを維持するために通常行っている、治験検査年ですか。それで何かが見つかったときに、保守修理っていうのはどういうふうにするんですか。
0:38:16	それを担保するためにはどうなってますか、っていうところを整理していただきたいと思います。
0:38:24	巨大タカハシで承知しました。はい。あとですね、あと二つはちょっと細かいところで恐縮なんですけれど、今回の第1条安全設備のところ で、
0:38:36	農業予想のですね、影響を与える環境条件として度上昇上げています。 それで審査会合を、資料見ますと、今後もしかやられるから大丈夫です。
0:38:48	PMへ書いてあるんですけど、逆にですね、ある影響を与える温度って幾つだかっていうのを説明していただきたいなというふうに思っています。
0:39:00	例えば被覆管の材料で売ったとすると、私の意義という点とかになるのかなと思っておりますが、
0:39:12	そういう感じになりますかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:16	ですね京都大学高橋です。燃料に関する説明で清のところですねブリスタ等の温度が発生する。
0:39:26	今度仙波良い。
0:39:27	新宿テンジウのところにおりますが、
0:39:33	評価基準としては 400 度ということで記載をさせていただいてそちらが影響が出る温度ということで、定義づけると思うので、
0:39:42	ちなみにですねテンジウのですね 1 ページ、添 11 のところの、
0:39:47	下の方にですね燃料の最高の 400 度を超えないことということですね。
0:39:52	規定をしているところがございます。わかりました。説明の敷地については要するにヒアリング資料最終的には中央効率のときのように渡る資料という形でまとめていただきますがそこに書いていただければいいと思いますのでよろしくお願いいたします。
0:40:12	承知しましてありがとうございます。それとあと最後にですね、20 以上炉心等のところですか。ちょっとですね、ここも先ほどの、先ほどの例示と一緒になんですけれど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:26	最大出力は 100 ワットであるから放射線の影響が低いという内容を説明していると思います。
0:40:35	もうちょっとですね途中の方を入れていただきたいとっていて、例えば熱出力が 100 ワットだったら、生成する F P が少ないからとかになるんだとあっておまして、
0:40:48	放射線の影響が低いと中がちょっと抜けちゃってるんじゃないかなとあっておまして、そこをちょっと補足していただきたいと思います。
0:40:58	京都大学の高橋です承知いたしましたすみません言葉足らずでいろいろとちょっと説明して不足になっている部分については、補足させていただきます。どうもありがとうございます。はい。そこはちょっと申しわけ結合対象業務の説明のところに入れていただきたいと思います。
0:41:15	承知いたしました。
0:41:17	はい。こちらからは以上ですか。ちょっと待ってください。違う。
0:41:24	こちらから言いようとなりますが、京都大学さんもこれ何かございますか。
0:41:30	ちょっと待ちよ。少々お待ちください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:45	伊藤さん何かございますか。
0:41:53	衛藤栗田氏からの追加はございません。衛藤イトウとしては1度そろったものをいただくのかというところを確認しておければと思ってます。
0:42:12	京都大学の高橋です。今日もいただいたコメントについての回答なんですけれども、
0:42:19	拠点としては補正申請も特に適合条文の話とございます。こちらについても補正申請の中でご説明差し上げることになるかと思しますので、
0:42:30	補正申請を整えて提出するというところでよろしいんでしょうかちょっと私たちとしても、
0:42:38	回答として資料の提出というところでよろしいのかそれとも補正の中に織り込めば良いのかというところで、
0:42:46	ちょっと事務手続き的な話になるかと思いますが、ご意見賜ればと思います。よろしく申し上げます。規制庁の加藤です。別に
0:42:58	坂根一番上、ちいの説明があった後補正の方がいいと思っています。でするので、なるべく早くですね、
0:43:10	今日、今日こちらが伝えたコメントについては、まずヒアリング資料として回答していただいて、こちらに送ってくださいと。それで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:24	必要に応じてヒアリングを行って、
0:43:29	そこから補正の方がいいんじゃないかなと思いますが、いかがですか。
0:43:36	承知いたしましたそれではですね今日の回答ということでまたヒアリング資料の方を準備させていただきまして、
0:43:43	準備を進めたいと思います。今日の高橋です。ヒアリング資料がいつでもできるかっていうのをちょっと私もイトウも聞きたいってところなんですよ。
0:44:14	京都大学の高橋です。ですね来週の火曜日をめぐにですねお送りさせていただきますと思いますがよろしいでしょうか。
0:44:25	町長のパトロールわかりました。
0:44:30	ちょっと送ってもらって、
0:44:32	すいません今日大学の高橋ですけれども 11 日ですね火曜日にお送りする際にはヒアリング資料として、
0:44:40	グレイマスキング版マスキング版、公開版等を
0:44:44	あわせて準備させていただいたら良いということでよろしいでしょうか。はい。よろしくお願いいたします。
0:44:50	ちょっと承知いたしました。ちょっと待ってくださいね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:28	ぶっちゃけ、町長の加藤です。よろしいでしょうか。
0:46:33	はい。よろしくお願いします。〇〇 1 税のところなんですけれど、
0:46:42	先ほど 21 条では、応募上昇の閾値を、ポイントを説明していないって いうところに加えてですね。
0:46:51	一応今回のところだと、想定されるすべての環境においてその機能を 発揮することができるものであること。
0:47:03	日本は行かれていますので、ここでもそんな金額は何ぞやっていうのも きちんと説明するような形でお願いいたします。
0:47:17	よろしいでしょうか。
0:47:20	京都大学高橋です。承知いたしました。
0:47:26	ちょっと待ってくださいね。
0:51:53	成長のカトウですよろしいでしょうか。
0:51:59	はい、京都大学タカハシですよろしくお願いします。はい。平成 25 人 のところ、第 1 項の方ですね、いろいろ受けなければ今度放送権木元 の研修県下において必要な物理的及び化学的性質保持主がする。
0:52:19	それでなければならぬというふうに、
0:52:21	要求はなっていますと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:24	それと、物理的及び化学的選出ほじってありまして、その研究、
0:52:34	ごめんなさい、最も想定される厳しい条件下における、ここで必要な物理的及び化学的性質は何かっていうのを、
0:52:45	説明していただきたいというふうに考えているんですけど、それって整理されていました。
0:52:56	審査会合用の資料か何かで評価書ですね、ある程度は、こういう環境とかでは大丈夫っていうのは説明しているものの、
0:53:08	どういう性質を保持するんだっていうそういう整備、化学的物理的性質、
0:53:16	そこは整理されていないんじゃないかなというふうに考えておりまして、そこを整理することはできますか。規制庁金子です。おそらく物理的っていうのは曲がったり、
0:53:28	しないっていうことで、科学的性質は腐食なんじゃないかと思えますけど、何か審査会合の資料か何かで、そういう御説明をいただいていたんですけど、
0:53:42	とかですね京都大学の高橋ですおそらく、説明しているものかと思いますがですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:50	ちょっと今すぐに説明ご回答できるような、ちょっと資料見当たりにませ んののでちょっと確認をさせていただいて必要であれば整理するというこ とで考えております。はい。ありがとうございます。
0:54:01	あと同じ情報でもう1点なんですけど、
0:54:05	ちょっとください。
0:55:20	規制庁のカトウです。とですね後20炉心のところ
0:55:29	本で言うとはですね、被覆を兼ねる裕也証拠作業はしないっていう説明が 多分なされていると思うんですけど、ここ、
0:55:42	どういう説明をもって、こう、こう説明しているのかっていうのをちょ っと説明してもらってもいいですか。
0:55:51	おそらく被覆材とその燃料そのものにある程度そのクリアランスがある とかっていう話だと思うんですけど違いますかね。
0:56:22	先生、少しお時間いただきます。
0:56:24	了解しました。
0:56:56	京都大学の高橋です
0:56:59	今回被覆材と燃料の間にはですね若干のクリアランスがござい物理的に は若干のクリアランスがございしますが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:08	科学的にも今回、材質としてはアルミニウムというところもあってですね林業とその電飾的なような鋭角的な作業というのものないものと考えております。
0:57:22	規制庁加藤です。今言われたのは、
0:57:29	あれですか、体積膨張とかがあったとしてもうそっちはやばい材料とかなので、あまり強い頭を応力とかはしないってことを言われたってことです。
0:57:45	はいその通りです。
0:58:13	規制庁のカトウです。
0:58:16	今、高橋さん言われたものっていうのは評価されているんですが吉浦の被覆税のハウゲイが発生力が発生しないっていうのを、何かしらで評価されている。
0:58:29	日本は、
0:58:44	明日、京都大学タカハシですけれども応力がかかるという意味では評価まではしておりません。
0:59:05	携帯のカトウです。月での申請書を確認してんですけど、どう、結局のところ 40 種が大したことありません。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:17	つまり、体積膨張としても、
0:59:21	それで起こらなくて、栗原市の中とかで吸収できますってということなんじゃないかなと思いますが、違いますか。
0:59:32	京都大学の高橋ですおっしゃる通り膨張がないという説明をしておりますので、そのあとの応力ですね被覆材の応力の計算評価というのはやっていないということなんですけれども、
0:59:48	もともとのその前提としてそういった状況が起こるかどうかという意味では、温度上昇等がないので、
0:59:55	凍る可能性は極めて低いということで説明を差し上げているところでございます。
1:00:01	細かく、
1:00:21	町長の加藤ですよろしいでしょうか。
1:00:25	よろしいですか。はい。よろしくお願ひ。はい。お願ひします。意外と結構重要だと思っいて、ヒアリング資料、つまり最終的にまとめていて、補足説明資料、まとめ資料ですね。
1:00:38	そこの方、結局温度上昇はこのままのデータ井関付をしなくて、クリアに吸収できるから相互作用はないと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:48	そこを説明していただいてもよろしいですか。
1:00:55	京都大学のタカハシで承知いたしました。
1:01:54	町長の加藤でよろしいでしょうか。
1:01:59	はい。
1:02:00	加賀谷高橋ですよろしくお願ひします。はい。26条確認の上説明方、これから審査会合の資料で説明していると思うんですけども、どう、外部掲示。
1:02:13	毛利提示等を十分な隔離距離を設けることによって、想定されるいかなる場合でも、挙動する燃料体が臨界に達する恐れがないという説明をされていると思っています。
1:02:28	その、想定されるいかなる場合っていう5税の中に、私は周物は含んでいないっていうふうに理解をしているんですけどそういう理解でよろしいですか。安原ですねそのあとにすべき条件を、
1:02:46	評価をしていて、
1:02:48	そこでOKでっていうふうに言っていますわけ。
1:02:51	現行のそのいかなる状況の中ではあくまで期中での、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:56	町長のことを言っているというふうに理解してるんですけども、その理解は間違いないんですか。
1:03:08	京都大学の高橋ですこちらで来てお話をさせていかれる場合という意味では現実的に考えて水没はないというふうに考えております。より保守的なところというところで、
1:03:20	今回、検査の条件としては入っているというものでございます。
1:03:25	京成の加藤です。整理しますと行かれる場合っていうのはよくなり期中での条件の話であって、続き、職務上のバードゲージで臨界を担保します。
1:03:40	それで、久我池、中国条件においても、ご了解を担保できるような設計になっているっていう説明を2年分やっているっていう理解でよろしいんでしょう。
1:03:53	許諾タカハシです。おっしゃる通りでございます。ありがとうございます。
1:04:43	はい。こちらからは以上となりますが京都大学の方から何かございますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:52	京都大学の高橋です。京都大学からはございません。どうもありがとうございました。 ございました。
1:05:00	はい。それでは本日のヒアリングを終わりにしたいと思います。ありがとうございました。
1:05:07	ありがとうございました引き続きよろしくお願いいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。